

## 「考える」場が大切

主幹教諭 宮澤 優志

令和3年度も残すところあと35日（6年生は36日）の登校日となりました。2月は6年生にとって卒業文集の仕上げや卒業制作、校旗やたてわり班の引継ぎなど、卒業関連の行事が本格的になってきます。私はこの十三小に長く勤務していますが、毎年この時期に思うのは、6年生の素晴らしさです。「リーダーシップ」「思いやり」「自主性」など、その年によって6年生にもつイメージは様々です。今の6年生とは、3年生の時は担任、4年生の時は習熟度別算数担当として関わりをもちました。当時から授業だけでなく、学校生活の様々な場面で「よく考える」子どもたちでした。では、どうしたら子どもたちに「よく考える」力を身に付けさせることができるのでしょうか。今回は最近の授業を例にとって、紹介をしたいと思います。

【場面1：算数】5人ずつ座れるベンチが、30列並んでいます。何人まで座ることができますか。

式は $5 \times 30$ となります。この時点では、1桁 $\times$ 2桁の計算方法は学習していません。私の学級（3年1組）では、答えの求め方が4通り出ました。①絵を描いて人数を数える。② $5 \times 30 = 30 \times 5$ と考える。

（2桁 $\times$ 1桁は学習済み）③筆算をする。（塾や通信教材をしている子）④ $5 \times 3 \times 10$ と考える。全員で意見交流したとき、①は手間がかかる、③は筆算の仕方は知っていても、どうしてそうなるのか説明できなかったため、②と④が残りました。次に「 $12 \times 30$ 」だったら②と④のどちらが使える？」と聞くと、かける数とかけられる数をひっくり返しても、2桁 $\times$ 2桁は学習していないので全員④と答えました。 $12 \times 30$ を $12 \times 3 \times 10$ と分けて計算することは、この後学習する2桁 $\times$ 2桁の筆算の仕組みを学ぶ上で使われます。筆算の仕方を教えることは簡単ですが、子どもたちが「どうして?」「どうしたら?」と考える場が重要です。

【場面2：社会】

小平市の様子の変り変わりを学習しています。この日の授業では道路がテーマでした。昔と今の道路の様子の違いを出し合う場面では、



「道路の周りが畑から家や店に変わった。」「昔は無かったけど今は信号や歩道橋ができた。」「道路が土や砂だったけどアスファルトになった。」など、たくさんの意見が出ました。しかし、「では道路の様子が変わったことで人々の生活はどう変わった?」と聞くと、「店ができて生活が便利になったのでは?」「信号や歩道橋ができて交通事故が減ったのかな?」などの意見も出ましたが、多くの子は手が止まってしまいました。子どもたちにとって、資料から事実を読み取ること（分かること）はできても、読み取った事実をもとにさらに考えることは難しいようです。

知識があって初めて「考える」ことができるので、低学年では「教える」ことが中心になりがちですが、学年が上がるにつれて「考える」場面を増やしていくように十三小では指導しています。今回は3年生の授業の様子を例に挙げましたが、生活でも同じです。子どもたちと接していると、ついつい「〇〇はしてはいけません。」「〇〇しなさい。」という言い方になるときもありますが、「なぜ?」「どうやって?」「どうして?」などと問い返し、子どもたちが考える場面を意識してつくっていくことが大切だと考えています。

## ユニセフ募金について

本校では、毎年代表委員会が主導となってユニセフ募金に取り組んでいます。今年度は12月14日(火)、15日(水)、17日(金)の3日間、各学級に代表委員が出向き、募金活動を行いました。

「ユニセフ」といえば、「開発途上国や、極度の貧困のもとで暮らす子どもたちのための支援団体」というイメージがあります。しかし、日本もユニセフの支援を受けたことがあるのです。戦後間もない1949年から東京オリンピックの1964年の15年間は、学校給食用の粉ミルクや衣料品など、現在のお金にして、300～500億ぐらいにのぼる支援を受けました。記憶に新しい東日本大震災の際は、48億円にも及ぶ復興支援金が集まったそうです。

現在ユニセフは、新型コロナウイルスに苦しむ子どもたちに向けた支援を行っています。世界の学校の半分には石鹸と手洗いができる水道設備がないといわれています。そのようなライフラインを整えるだけでなく、インターネットの整備、教材の補填等、様々な支援が行われています。そんな子どもたちのために、ユニセフの取り組みは必要不可欠です。

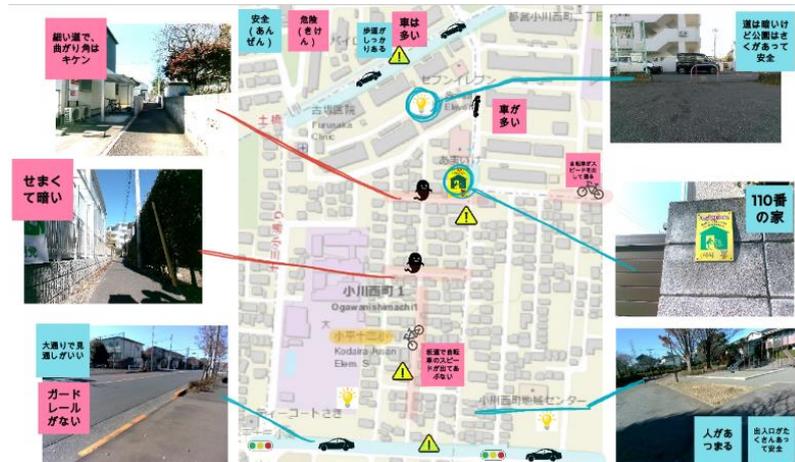
今回、53514円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



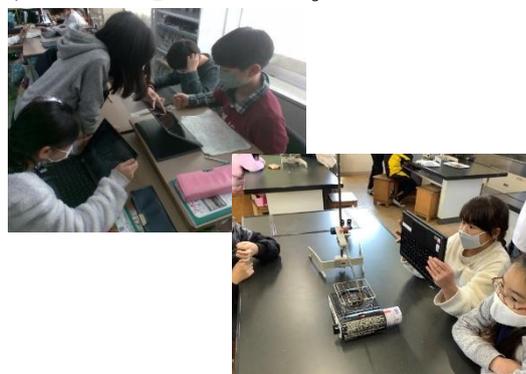
## 4年生のようす

4年生の生活も残すところ2か月となりました。

先日、2学期の総合的な学習の時間で取り組んできた「地域安全マップ」の発表を行いました。学区域で交通事故や犯罪が起きやすい場所を、フィールドワークで調べ、分かったことをタブレットPCを使ってまとめました。調査したのは、例えば、「車の通りが多いところ」「道路が狭く、歩道がないところ」「塀や植え込みなどで、周りから見えにくいところ」などです。



調査をとおして、「歩道の線が消えていた!」「建物で死角になっている」など、新しい発見も多かったようです。どう説明すれば聞いている人に分かりやすく情報が伝わるのか考えながら、Google Jamboardにまとめました。初めて聞く人にも伝わるように、写真や付箋、車や信号機のスタンプを使って工夫しました。学級での発表や、代表グループの全校発表では、堂々とした態度で話すことができていました。



理科の授業では、「ものの温度と体積」や「もののあたためり方」について学んでいます。教室で予想を話し合い、理科室で実験しています。実験の際、子どもたちの表情は真剣そのもの。変化を見逃さないように、集中して観察しています。実験の結果については、タブレットPCで写真をとってまとめることで、より分かりやすいものにしています。火を使う実験も多いので、安全に気を付けながら学んでいきます。

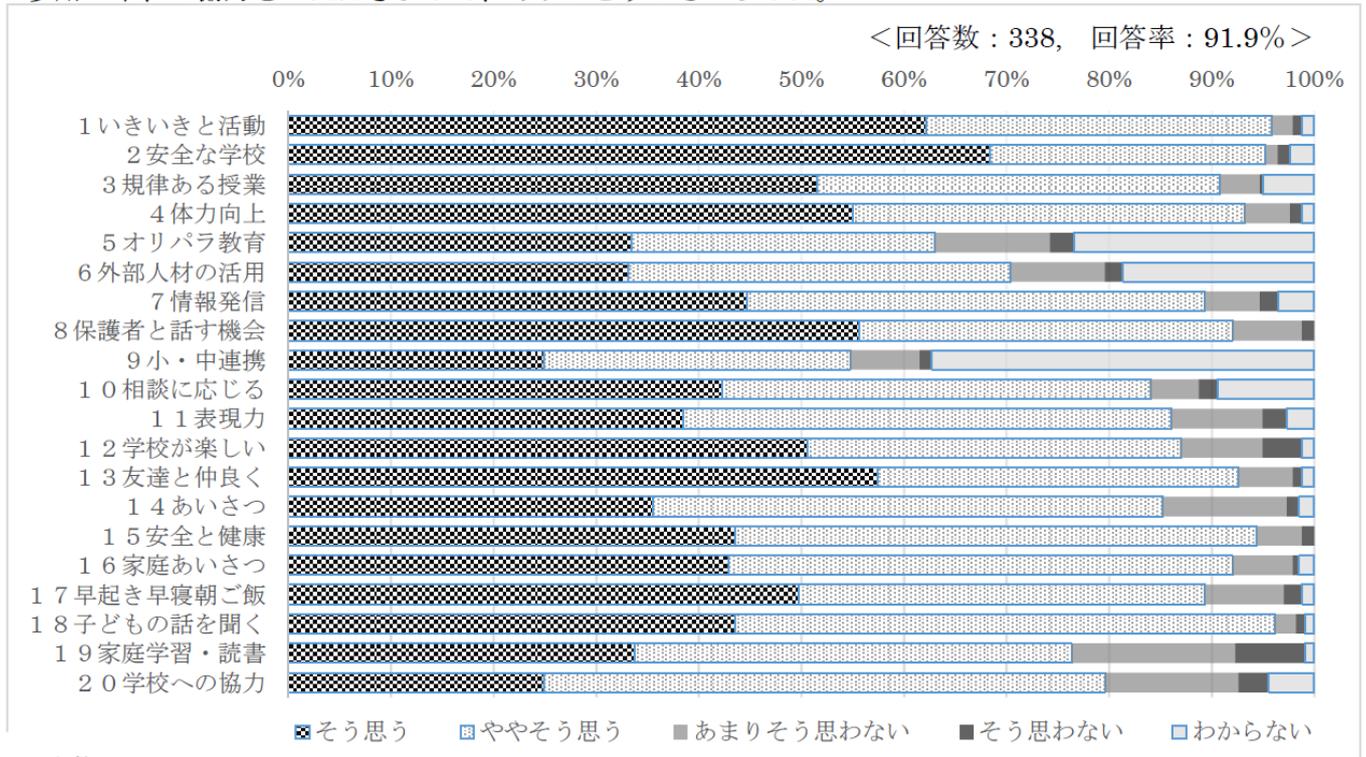
## マラソン旬間について



まん延防止等重点措置が解除される予定の2月14日(月)～2月28日(月)の約2週間は、マラソン旬間を実施します。ふれあいタイムに全学年が校庭に出て、低学年(1・2年生)と中学年以上(3年生以上)にコースを分けて走ります。全校でマラソンカードにも取り組み、意欲的にマラソンに取り組めるように工夫をしていきます。マラソンをとおして、体力の向上とともに自らすすんで体を鍛えようとする気持ちを育てていきたいと思います。  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、延期や中止をする場合があります。

## 令和3年度 教育活動等に関するアンケートの結果について

12月に行った「教育活動等に関するアンケート」の集計の結果について、お知らせいたします。  
 ご多用の中、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。



＜人数＞

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
そう思う	210	231	174	186	113	112	151	188	84	143	130	171	194	120	147	145	168	147	114	84
ややそう思う	114	91	133	129	100	126	151	123	101	141	161	123	119	168	172	166	134	178	144	185
あまりそう思わない	7	4	13	15	38	31	18	23	23	16	30	27	18	41	15	20	26	7	54	44
そう思わない	3	4	1	4	8	6	6	4	4	6	8	13	3	4	4	2	6	3	23	10
わからない	4	8	17	4	79	63	12	0	126	32	9	4	4	5	0	5	4	3	3	15

### アンケート設問一覧

- |  |   |
|--|---|
| 1 学校は、教育活動や学校行事を通して、子どもたちがいきいきと活動する場所となっている。<br>2 学校は、十三小保教の会と連携して、朝の立ち番や名札の着用など、子どもたちの安全に関する取組を行っている。<br>3 学校は、話の聞き方や発表の仕方など、学習のルールについて指導し、規律ある授業を行っている。<br>4 学校は、運動会（2学期）やマラソン月間（3学期）などを実施し、子どもたちの健康増進・体力向上を図っている。<br>5 学校は、オリンピックやゲストティーチャーなどと関わる活動を通して、オリンピック・パラリンピック教育を進めている。<br>6 学校は、学習ボランティアやゲストティーチャーを活用した授業を積極的にやっている。<br>7 学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動をわかりやすく伝えている。<br>8 学校は、保護者会や個人面談などで、保護者と話す機会をもつようになっている。 | 9 学校は、6年生の部活動体験や中学校の教員と協議会を行い、小・中連携教育を進めている。<br>10 学校は、保護者や子どもの相談などに適切に応じている。<br>11 子どもは、学年に応じた自分の考えや表現する力を身に付けてきている。<br>12 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。<br>13 子どもは友達と仲よく過ごしている。<br>14 子どもは、年齢に応じたあいさつがすすんでできている。<br>15 子どもは、社会のルールを守り、安全や健康に気をつけて過ごしている。<br>16 家庭では、あいさつや言葉遣いなどの基本的なしつけをしている。<br>17 家庭では、早起き、早寝、朝ごはんを実行している。<br>18 家庭では、子どもの話をよく聞こうとしている。<br>19 家庭では、学習や読書を毎日させている。<br>20 家庭は、積極的に学校に協力している。 |
|--|---|

昨年同様、今年度もアンケートの回答方法をマークシートによる方法とメールに回答する方法の2通りを設定しました。そのため、回収率は91.9%となり、とても高い回収率で回答が得られました。回答結果を考察すると、全設問の「そう思う」と「ややそう思う」の回答の合計が、平均で85%以上となり、概ね肯定的な評価をいただくことができました。特に、『安全に関する取組』と『友達と仲良く過ごしている』の設問では高評価の回答でした。ただ、コロナ禍における感染拡大防止対策により、教育活動にかなりの制約を強いられたことにより、諸学校行事やゲストティーチャーを招く活動等が思うようにはできませんでした。今後はコロナ対策を工夫しながら、できるだけ子どもたちの活動に支障が出ないように進めていきたいと考えています。これからも、よりよい小平十三小になるように学校づくりを進めて参りたいと思います。

<2月行事予定> ※予定は、今後の状況により変更になることがあります。

日付	曜日	時程	行事	各学年授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1日	火		教育相談日	5	5	6	6	6	6
2日	水	水時		4	5	5	5	5	5
3日	木		新1年生保護者相談会	4	4	6	6	6	6
4日	金		安全指導日 馬頭琴出前授業(2年)	5	5	5	6	6	6
5日	土								
6日	日								
7日	月	月時		5	5	5	6	6	6
8日	火		オリパラ出前授業(5年) 教育相談日	5	5	6	6	6	6
9日	水	水時	中学校体験入学(6年) A L T	4	5	5	5	5	5
10日	木		マラソン集会	5	5	6	6	6	6
11日	金		建国記念の日						
12日	土								
13日	日								
14日	月	月時	マラソン旬間始 クラブ活動⑫(3年見学) 薬物乱用防止教室(6年)	5	5	6	6	6	6
15日	火		教育相談日 5時間授業	5	5	5	5	5	5
16日	水	水時	避難訓練 4時間授業	4	4	4	4	4	4
17日	木		たてわり班活動⑧	5	5	6	6	6	6
18日	金		たてわり班引継ぎ式(5年) 教育相談日 A L T	5	5	5	6	6	6
19日	土								
20日	日								
21日	月	ク無	保護者会(1・2年) 15:00~	5	5	5	6	6	6
22日	火		教育相談日 お仕事出前授業(5年)	5	5	6	6	6	6
23日	水		天皇誕生日						
24日	木		音楽集会(送る会の歌)	5	5	6	6	6	6
25日	金		保護者会(3・4年) 15:00~ 1/2成人式(4年) A L T	5	5	5	5	6	6
26日	土								
27日	日								
28日	月	月時	委員会活動(後期終) マラソン旬間終	5	5	5	5	6	6

※<教育相談日>はスクールカウンセラーが来校しています。予約・相談等は、相談室直通の [TEL:042-345-4428](tel:042-345-4428) まで。

～ふれあい月間～

2月はふれあい月間です。小平市教育相談室では、市内の児童・生徒のいじめや不登校、また子育てに関する電話相談を受け付けています。どんな小さな悩みでも結構です。お気軽にご相談ください。

小平市教育相談室

電話 042(343)9411